

令和2年度 情報科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	社会と情報（日本文教出版）						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・技術進歩が著しい。コンピュータが使えることが原則となり、**android**や**iOS**などの**OS**のでている機器も汎用している。情報の受け手と発信者が注意すべき点を理解し、適切な対応ができる能力を身につけてほしい。機器やソフトウェアの操作方法の習得、理論や仕組みを理解し、将来的な変化にも対応できる知識と活用能力を持ってほしい。

2 学習の到達目標

・情報化が急速に進む中、情報技術が社会に及ぼす影響や課題について理解するとともに、情報機器や情報通信ネットワークを適切に活用して、情報を収集・整理・分析しながら問題を解決する力を身につける。情報を発信する場合において、他者への配慮や発信する内容に責任を持つ態度を育てる。そのための危険性を十分に理解する。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観 点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を多角的・多面的に吟味しその価値を見極めていこうとする態度 ・自らの情報活用を振り返り、評価し改善しようとする態度 ・情報モラルや情報に対する責任について考え行動しようとする態度 ・情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度 	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな事象を情報とその結び付きの視点から捉える力 ・問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力 ・課題作成において、相手のことを想い、作品の出来栄を創造して作成する力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報と情報技術を活用するための基礎・基本的な技能を身に付け、目的に応じて、情報および情報技術を適切に扱っている。 ・偏った技能を活用するのではなく、いろんな場合によって使い分ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報と情報技術を適切に活用するための知識とそれを活用して問題を発見・解決するための方法についての理解 ・情報社会の進展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響、および、情報に関する法・制度やマナーの意義と情報社会において個人が果たす役割や責任についての理解
評 価 方 法	学習状況の観察 実習作品、発表 レポート 相互評価・自己評価 等	学習状況の観察 グループワーク レポート、発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 課題作品 発表 実技テストの結果 等	学習状況の観察 小テスト 定期考査の結果 等
<p>上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。</p> <p>学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</p>				

4 学習の活動

学 期	単 元 名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1 学 期	情報社会に生きるわたしたち	○情報を活用しよう ○情報モラルを身につけよう ・ルールやマナー ・SNS の使用 ○コンピュータとの仕組み CPU ソフトウェア など	○		○	○	a: コンピュータの仕組みに興味をもち、学習に積極的に取り組もうとしている。 b: ルールの遵守や使用する上でのマナーを理解し、実社会で情報を活用する方法を見出そうとしている。 c: デジタル化する方法を学習し、編集や加工ができる。 d: 情報モラルが社会に与える影響を考え、モラルに反した場合の社会に与える影響を理解している。	授業観察 ワークシート レポート 実習課題 定期考査
1 学 期	コンピュータを使いこなそう	○コンピュータを使ってみよう ・アカウントの使用 ・アカウントの重要性 ○文書を作成してみよう ・他人の権利を侵害しない ・ソフトの使用	○		○	○	a: コンピュータを使用する際、アカウントが発行され、管理されている理由を考える。 b: 課題を作成する際、他の人の作品と似ていないか、また、人に見てもらった時の作品の完成を創造して作成することができる。 c: 思っていることをいかに表現でき、また完成形に近づけることができる。 d: 他人の権利を侵害しないために、まず自分が何をなすべきかを理解している。	ワークシート 授業観察 レポート 実習課題 定期考査
2 学 期	情報社会のしくむを知ろう	○情報通信ネットワークとコミュニケーション ・IE を使用しての情報収集 ○情報のデジタル化 ○情報通信ネットワークのしくみ ・データ送信のしくみ ○望ましい情報社会を築く ・社会における情報システム	○	○	○	○	a: SNS などの使用において、コミュニケーションが変化(対面以外)起きていることを理解しようという。 b: 情報技術、法や制度および人間との関係に基づいて情報社会の安全や発展について考えることができる。 c: 情報モラルを踏まえて、情報収集技術を養い、法律と関連して活用することができる。 d: 情報化が人に及ぼす影響について理解し、危機管理を持つことを理解する。	ワークシート 授業観察 レポート 定期考査

2 学期	情報社会の課題について考えよう	<p>○情報化が社会に及ぼす影響と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイバー犯罪 ・情報化の課題 <p>○情報セキュリティの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暗号化対策 ・情報セキュリティを高める方法 <p>○情報社会における法と個人の責任</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知的財産権 	○	○	○	○	<p>a: 情報社会において、情報の発信者および受信者として、情報モラルや法を踏まえて、適切に行動をしようとしている。</p> <p>b: 情報モラルを踏まえて、情報収集を行い、法律やマナーに抵触していないか、考えることができる。</p> <p>c: 現社会において、どのようなサイバー犯罪が横行していて、その対策として、セキュリティがどのように働いているか調べることができる。</p> <p>d: 情報化が人間に及ぼす影響について理解する。よりよい情報社会を構築するための考え方や工夫について理解する。</p>	ワークシート 授業観察 レポート 定期考査
3 学期	情報を整理して伝えよう	<p>○問題解決してみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の収集 <p>○データを分析みよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな表現 <p>○情報をわかりやすく伝える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表 	○	○	○	○	<p>a: 問題解決の方法と手段について関心を持ち、問題解決に取り組もうとしている。</p> <p>b: 目的に応じて、自分自身で表現する方法を考え、作品にすることができる。</p> <p>c: 問題解決のための、さまざまな技法を使うことができ、目的に応じて適切な方法を活用できる。</p> <p>d: 発表において、何を伝えたいか考え、短時間で伝える方法を考える。</p>	ワークシート 授業観察 レポート

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断・表現
c: 技能 d: 知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。